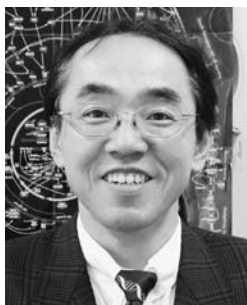


研究支援センターが求める技術系職員は？

自然科学研究支援開発センター
檜山 英三，外丸 祐介



檜山 英三

1. はじめに

広島大学には1つの附属研究所と複数の学内共同教育研究施設・センター等が存在し、これらはこれまで必要に応じて設置或いは統廃合されてきた。その中で、自然科学研究支援開発センター（NBARD）は、低温センター、機器分析センター、遺伝子実験施設、医学部附属動物実験施設、アイソトープ総合センターを統合し、高度先端研究機器・設備の集約化と一元管理・運営を行う自然科学系唯一のセンターとして平成15年に設置され現在に至っている。本センターの目的は幅広い先端的な基礎研究基盤の充実と、高度な自然科学のプロジェクト研究の推進であり、施設・機器の充実、インフラ整備とともに、技術系職員の果たす役割は極めて重要であり、教育研究支援と研究開発に関して大きな推進力となることを期待している。

2. 教育研究支援について

- (1) 動物実験，植物実験，遺伝子実験，遺伝子組換え（改変）実験，放射性同位元素を用いた実験に対する教育研究支援，環境保全及び安全管理を行う。とくに，法的規制，ガイドラインに従った適正かつ安全な研究が行える環境整備と教育研究支援を行う。
- (2) 高性能分析・評価機器を共同利用機器として提供し，講習会や技術セミナーなどを企画・開催し，研究者の技術水準の向上や技術提供とともに，効率よく確実な成果を上げるための依頼分析や機器・設備管理を行う。

3. 研究開発について

- (1) 再生医療，病態解析，細胞医療の開発，医療ベンチャー創生など新しい医療や生命科学に関するプロジェクト研究のための先進的探索法を開発，提供する。
- (2) エネルギー変換・貯蔵機能，新規触媒機能，情報変換・伝達機能など高機能を有する未来材料のシーズを示し，新規プロジェクト研究を支援する。
- (3) 遺伝子組換え（改変）生物作製・胚細胞保存さらに環境放射線探索を行い，生命科学，健康科学及び環境科学の基礎的・応用的研究を推進し，先端的研究・開発に寄与する。

4. 技術系職員に望むもの

NBARDにおける技術系職員は全学的な設備や機器集約化による効率的な運用に携わるだけでなく、広島大学の教育研究支援と研究開発の両者に中心的な役割を果たし、教育研究の基盤をしっかりと担うとともに、自らの技術レベルを鍛錬して、世界最先端の研究を行っている教員と連携して研究開発や新規プロジェクト研究に積極的に参画することが望まれている。